

<今月のトピック 1>

## ～当院における院内感染症診療ガイドラインの紹介～ 『尿路感染症』

1) 市中発症の腎盂腎炎（市中発症→原因菌の9割近くが *Escherichia coli*）

### ポイント

原則として、治療開始前に尿検体を得る。加えて、血液培養も治療開始前に必ず2セット採取する。

①尿検査を実施する。

症状があり、定性検査で白血球反応 1+以上、もしくは沈渣で WBC > 10/HPF であれば尿路感染を強く疑い、尿の微生物学的検査へ進む

②必ず治療開始前の尿を培養に提出する。

③細菌尿を確認する目的で尿のグラム染色（塗抹検査）実施を推奨する。

実施困難な場合は培養に提出する際に塗抹検査を依頼する。

④起因菌の薬剤感受性が判明したら抗菌薬の de-escalation を積極的におこなう。

原因菌	初期治療
<i>Escherichia coli</i> <i>Klebsiella</i> spp. <i>Proteus mirabilis</i> など	（軽症中等症例） 注1) 注2) ・ラリキシン錠 (CEX) 250mg×3/日 7日間 ・セフトレンピボキシル錠 (CDTR-PI) 100mg×3/日 7日間 （重症例） 注3) ・リアソフィン注 (CTRX) 1～2g×2/日 ( <i>P. aeruginosa</i> は×・ <i>E. cloacae</i> は△) ・アミカシン注 (AMK) 10mg/kg/回を1日1回 （・セフメタゾール注 (CMZ) 1g×3/日 は ESBL 産生 <i>E. coli</i> を考慮時）

## 解説

注1) 当院では *Escherichia coli* のレボフロキサシン (LVFX) の感受性率が 70%と悪いため、LVFX は推奨しない。

注2) 軽症中等症例での経口内服薬としては、ミノサイクリン塩酸塩 (MINO) やバクトラミン (ST 合剤) も選択肢となる。

注3) 重症例では、起因菌の可能性が高いグラム陰性桿菌を考慮して、CTRX と AMK を推奨する。

ESBL 産生菌をカバーする必要がある場合は CMZ を推奨する。

### —今月号の目次—

- ①<今月のトピック 1>～当院における院内感染症診療ガイドラインを紹介～『尿路感染症』・・・(1)(2)
- ②DI 情報
  - 気になる事例の紹介、副作用報告・・・(3)
  - 採用薬変更のお知らせ・・・(3)(4)

## 2) 複雑性尿路感染症

### ポイント

複雑性尿路感染症では耐性傾向の強い細菌が起因菌となる頻度が高くなる。

原則として、治療開始前に尿検体を得る。加えて、血液培養も治療開始前に必ず2セット採取する。

#### ①尿検査を実施する。

症状があり、定性検査で白血球反応 1+以上、もしくは沈渣で WBC > 10/HPF であれば尿路感染を強く疑い、尿の微生物学的検査へ進む

#### ②必ず治療開始前の尿を培養に提出する。

#### ③細菌尿を確認する目的で尿のグラム染色（塗抹検査）実施を推奨する。

実施困難な場合は培養に提出する際に塗抹検査を依頼する。

- ・グラム陰性桿菌→*Escherichia coli*、*Klebsiella* spp.、*Pseudomonas aeruginosa* などが疑われる  
→前歴や合併症など患者背景により抗緑膿菌薬使用を考慮する
- ・グラム陽性球菌→*Enterococcus* spp. が疑われる→培養結果を確認する

#### ④起因菌の薬剤感受性が判明したら抗菌薬の de-escalation を積極的におこなう。

原因菌	初期治療
<i>Escherichia coli</i> <i>Klebsiella</i> spp. <i>Proteus mirabilis</i> <i>Enterobacter</i> spp. <i>Citrobacter</i> spp. <i>Pseudomonas aeruginosa</i>	グラム染色を行わず、エンピリックに治療を行うとき ・リアソフィン注 (CTRX) 1~2g×2/日 ( <i>P. aeruginosa</i> × <i>E. cloacae</i> △) 注4) [尿のグラム染色で GNR 陽性の場合] ・アミカシン硫酸塩注 (AMK) 10mg/kg/回を1日1回 ・リアソフィン注 (CTRX) 1~2g×2/日 ( <i>P. aeruginosa</i> × <i>E. cloacae</i> △) 注4) [尿のグラム染色で GPC 陽性の場合]
<i>Enterococcus</i> spp. MRSA (まれに)	・バンコマイシン塩酸塩注 (VCM) [尿のグラム染色で GPC・GNR が両方陽性の場合] 注5) 複雑性尿路感染症で、 <i>Enterococcus</i> spp. に加えて <i>P. aeruginosa</i> などのグラム陰性桿菌や ESBL 産生菌との混合感染が疑われるとき ・タゾピペ点滴静注 (PIPC/TAZ) 4.5g×3/日

## 解説

注4) *Enterobacter* spp. の CMZ の感受性率は非常に悪く、ほぼ耐性となっている。

特に *E. cloacae* は第3世代セフェムも耐性化している。

注5) 全身状態が不良の患者で一刻を争う病態の場合は、ESBL 産生菌を考慮しメロペネム注 (MEPM) を選択することも考慮する。ただし、漫然とした使用は避け、de-escalation を常に念頭に置くこと。

### <尿路感染症のまとめ>

- ・主とした原因菌はグラム陰性桿菌。
- ・第三世代セフェム系薬剤に対するエンテロバクター属の耐性化が進んでいる
- ・尿路感染症の治療でレボフロキサシンを選択肢とする指針もあるが、当院は主たる原因菌である大腸菌の耐性化が進んでおり、推奨していません。安易に選択しないよう注意が必要。
- ・当院において、セフメタゾール注 (CMZ) はエンテロバクター属以外の尿路感染症原因菌に対して非常に感受性が良好である。薬剤選択の際には、いわゆる「奥の手」として温存することが勧められる。
- ・バンコマイシン塩酸塩注投与時は、薬剤科で最適投与方法シミュレーションを行いますので、ご連絡ください。



## DI 情報

### <気になる事例の紹介～プレアボイド報告より～>

薬剤名	内容	問い合わせ内容	結果
オルメテック錠	検査値・バイタルに合わせた介入事例	オルメテック 20mg 内服中。腎機能 Cre : 5.1 Ccr : 8.7。K 値は正常範囲内。オルメテック中止可能か確認。 以下添付文書より 重篤な腎機能障害のある患者 [腎機能を悪化させるおそれがある。血清クレアチニン値が 3.0 mg / d L 以上の患者での十分な使用経験はないので、このような患者に対しては状態を観察しながら慎重に投与すること。]	オルメテック内服中止。  <今後のフォロー> 血圧の変動確認。腎機能確認。

### <副作用報告> (県連DI委員会 8月報告より)

No	薬効分類	被疑薬	副作用症状	グレード	院所	評価
1	セフェム系抗生物質製剤 嫌気性菌感染症治療剤	リアソフィン静注用 1g アネメトロ点滴静注液 500mg	白血球減少	2	協同	可能性有り
2	合成ペニシリン製剤 β-ラクタマーゼ阻害剤配合抗生物質製剤 セフェム系抗生物質	パセトシンカプセル 250 ユナスピン静注用 1.5g  セフォタックス注射用 1 g	紅斑	2	協同	可能性有り
3	慢性疼痛/抜歯後疼痛治療剤	トラムセット配合錠	振戦	1	秩父	可能性有り
4	抗ウイルス化学療法剤 非ステロイド性消炎・鎮痛剤 (COX-2 選択的阻害剤) 胃炎・胃潰瘍治療剤	バラシクロビル錠 500mg「NP」  セレコックス錠 200mg レバミピド錠 100mg「NP」	播種状丘疹紅斑型 薬疹 搔痒	2 1	行田	可能性有り
5	広範囲経口抗菌製剤	レボフロキサシン錠 500mg 「サンド」	搔痒	1	かすかべ	可能性有り

### <採用薬変更のお知らせ> (県連薬事委員会より)

新規採用					採用削除			
変更理由	メーカー	薬品名	規格	薬価	メーカー	薬品名	規格	薬価
後発医薬品へ変更	千寿薬品	ティアバランス点眼液 0.1%		267.3 円/瓶	参天製薬	ヒアレイン点眼液 0.1%/5 ml		398.5 円/瓶
	日医工	アリピプラゾール錠	3mg	28.4 円/錠	大塚製薬	エビリファイ錠※	3mg	82.5 円/錠
			6mg	54 円/錠			6mg	156.7 円/錠
	東和薬品	テラムロ配合錠 AP「トローワ」		58.7/錠	アステラス製薬	ミカムロ配合錠 AP		117.4 円/錠
抗アレルギー性点眼薬の採用薬見直し	アルコンファーマ	パタノール点眼液 0.1%		196.7 円/mL	わかもと	ゼベリン点眼薬 0.1%		744.8 円/瓶
	参天製薬	アレジオン点眼液 0.05%		392.5 円/mL				

緑内障治療薬の同効薬見直し	千寿薬品	ミケラン LA 点眼液 2%	525.1 円/mL	わかもと	リズモン TG 点眼液 0.5%	655.3 円/mL		
				アルコンファーマ	ベトプティック点眼液 0.5%	351.9 円/mL		
緑内障治療薬の新規採用	アルコンファーマ	トラバタンズ点眼液 0.004%	1007.6 円/mL	なし				
	アルコンファーマ	エイゾプト懸濁性点眼液 1%	450.7 円/mL	なし				
	参天製薬	トルソプト点眼液 1%	240.1 円/mL	なし				
	参天製薬	コソプト配合点眼液	599.8 円/mL	なし				
	ファイザー	ザラカム配合点眼液	1141.4 円/mL	なし				
	アルコンファーマ	デュオトラバ配合点眼液	1210.5 円/mL	なし				
新規処方患者減少による採用削除	なし			参天製薬	デタントール点眼液 0.01%	315.3 円/mL		
				参天製薬	プロラノン点眼液 0.1%	27.4 円/mL		
				トーアエイヨー	フラビタン点眼液 0.05%	92 円/mL		
				バイエル薬品	アダプチノール錠 5mg	44.1 円/錠		
爪白癬治療薬の新規採用	科研製薬	クレナフィン爪外用液 10%	1657.5 円/g	なし				
	佐藤製薬	ルコナック爪外用液 5%	997.8 円/g					
尋常性乾癬治療薬の新規採用	協和発酵キリン	ドボベツト軟膏	263.5 円/g	なし				
剤型の変更	ファイザー	リリカ OD 錠	25mg	67.8 円/錠	ファイザー	リリカカプセル	25mg	67.8 円/カプセル
			75mg	112.9 円/錠			75mg	112.9 円/カプセル
販売中止のため	日医工	ホスホマイシン Ca シロップ用 40%	84.6 円/g	ダイト	ホスホミンドライシロップ 400	84.6 円/g		
一般名名称へ変更のため	祐徳薬品工業	リドカインテープ「YP」 18mg	33.8 円/枚	祐徳薬品工業	ユーパッチテープ 18mg	33.8 円/枚		
採用規格の追加	共和薬品工業	エチゾラム錠 0.25mg「アメル」	5.8 円/錠	なし				

※エビリファイ錠は、後発医薬品が統合失調症のみの適応のため、適応病名が追加されるまでは採用継続

情報の提供・お問い合わせは、埼玉協同病院薬剤科 DI 室(内線 9404)までどうぞ  
 担当：玉水・木村・柴田・牧野・相良 Tel 048-296-9249 Fax 048-296-5719